

大阪市立大学大学院経済学研究科
 経済格差研究センター研究員
 大西 祥 恵

表1 問1 年齢はおいくつですか

	人数	割合
20歳未満	0	0.0
20-24歳	0	0.0
25-29歳	0	0.0
30-34歳	0	0.0
35-39歳	0	0.0
40-44歳	1	0.3
45-49歳	0	0.0
50-54歳	2	0.7
55-59歳	120	41.2
60-64歳	126	43.3
65-69歳	32	11.0
70-74歳	9	3.1
75歳以上	1	0.3
有効回答者数	291	100.0
不明	0	
合計	291	

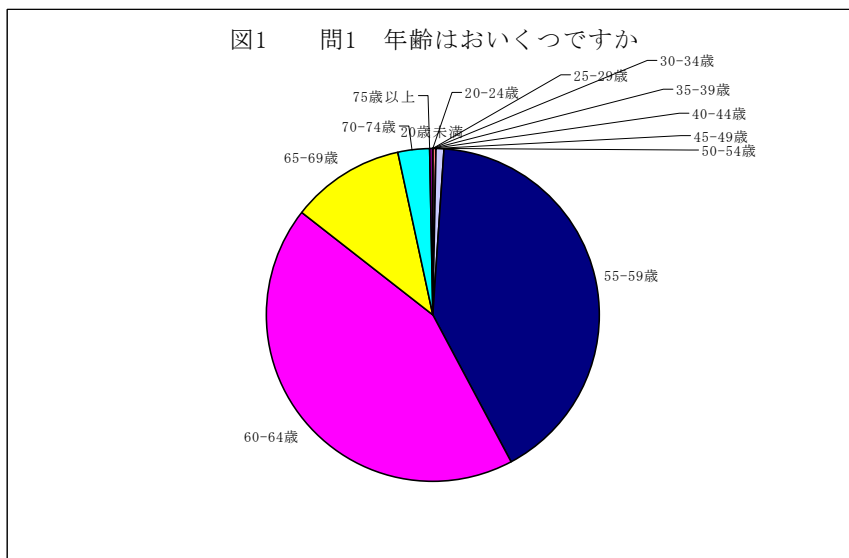
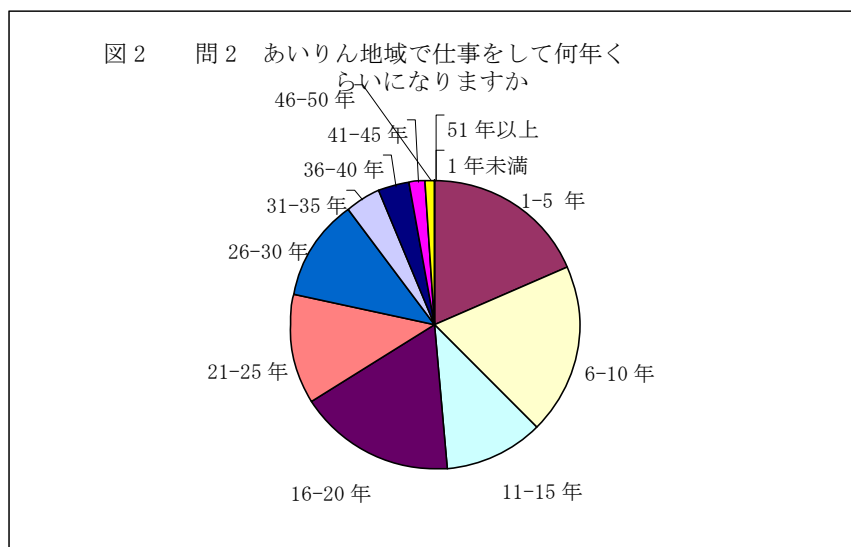


表 1、図 1 は、年齢についてみたものである。最も多かったのは「60-64 歳」と回答した者で 126 人（43.3%）、次いで「55-59 歳」と回答した者で 120 人（41.2%）となっており、いずれも 4 割を超えている。また、「66-69 歳」と回答した者も 1 割を超えている。50 歳代半ばから 60 歳代の者だけで 9 割 5 分を超えているのは、この「特別清掃調査」が特別清掃事業を利用している者に対して実施された点に関係している。というのもこの事業は基本的には 55 歳以上の者を対象として実施されているからである。

表 2 問 2 あいりん地域で仕事を
して何年くらいになりますか

	人数	割合
1 年未満	0	0.0
1-5 年	54	18.6
6-10 年	55	19.0
11-15 年	32	11.0
16-20 年	51	17.6
21-25 年	35	12.1
26-30 年	33	11.4
31-35 年	12	4.1
36-40 年	10	3.4
41-45 年	5	1.7
46-50 年	3	1.0
51 年以上	0	0.0
有効回答者数	290	100.0
不明	1	
非該当	0	
合計	291	



あいりん地域で仕事をして何年くらいになるかを問うたところ、相対的に多かったのは「6-10年」、「1-5年」、「16-20年」と回答した者でそれぞれ55人(19.0%)、54人(18.6%)、51人(17.6%)となっている。また、「11-15年」、「21-25年」、「26-30年」と回答した者もそれぞれ1割以上みられる。

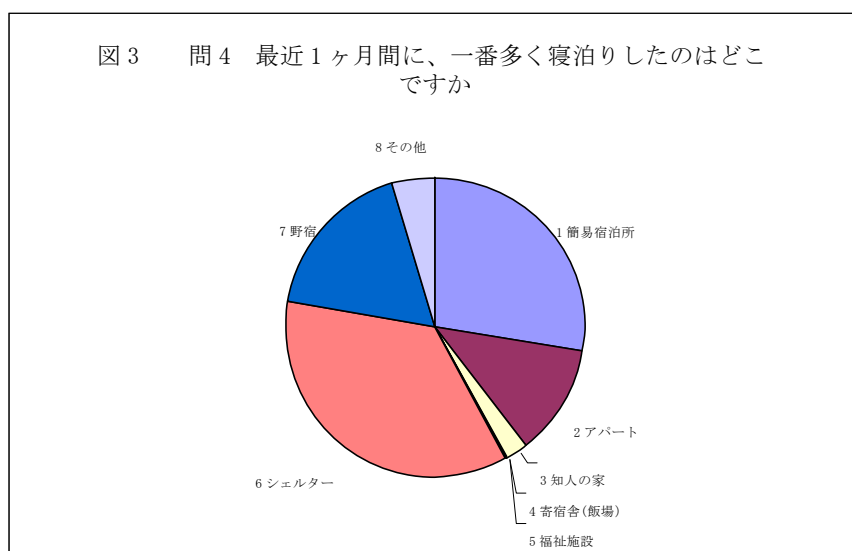
表3 問3 現在、住んでいるのは、あいりん地域内ですか

	人数	割合
はい	244	83.8
いいえ	47	16.2
有効回答者数	291	100.0
不明	0	
合計	291	

表3は、現在住んでいるのはあいりん地域内かを聞いた結果である。「はい」回答した者が244人(83.8%)、「いいえ」と回答した者が47人(16.2%)となっている。あいりん地域内に居住している者が8割を超えており、圧倒的に多いことがわかる。

表4 問4 最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りしたのはどこですか

	人数	割合
1 簡易宿泊所	79	27.5
2 アパート	34	11.8
3 知人の家	7	2.4
4 寄宿舍(飯場)	0	0.0
5 福祉施設	1	0.3
6 シェルター	102	35.5
7 野宿	51	17.8
8 その他	13	4.5
有効回答者数	287	100.0
不明	4	
合計	291	



最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りした場所を問うたところ、最も多かったのが「シェルター」で102人(35.5%)、次に多かったのが「簡易宿泊所」で79人(27.5%)となっている(表4、図3)。また、「野宿」と回答した者も51人(17.8%)おり、一定数を占めている。この3つの項目を合計すると、8割を超えている。

表 5 問 5 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っていますか

	人数	割合
1 持っている	51	17.7
2 以前は持っていたが、今は持っていない	139	48.3
3 作ったことがない	98	34.0
有効回答者数	288	100.0
不明	3	
合計	291	

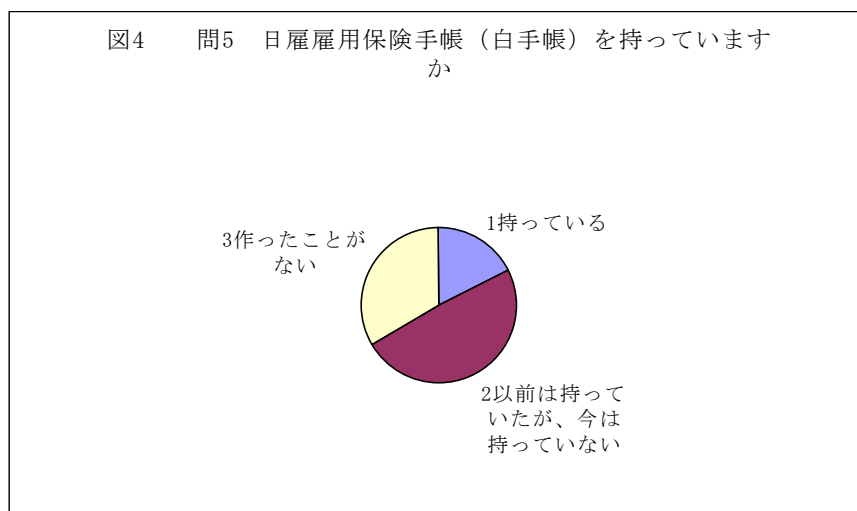


表 5、図 4 は日雇雇用保険手帳（白手帳）の所持について聞いた結果を示したものである。「以前は持っていたが、今は持っていない」と回答した者が 139 人（48.3%）と半数近くに上っている。次に多いのが、「作ったことがない」と回答した者で 98 人（34.0%）と 3 割 5 分弱を占めている。また、「持っている」と回答した者は 51 人（17.7%）であった。

表 6 問 5-1 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っている場合
の今月の認定資格

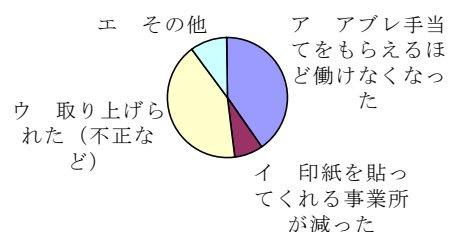
	人数	割合
有	40	78.4
無	11	21.6
有効回答者数	51	100.0
不明	0	
非該当	240	
合計	291	

日雇雇用保険手帳(白手帳)を所持していると回答した者に、今月の認定資格の有無を聞いたところ、「有」と回答した者が40人(78.4%)、「無」と回答した者が11人(21.6%)となっている(表6)。今月の認定資格のある者が8割近くに上っていることがわかる。

表 7 問 5-2 日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていた場合
の今は持っていない理由

	人数	割合
ア アブレ手当てをもらえるほど働けなくなった	55	40.1
イ 印紙を貼ってくれる事業所が減った	11	8.0
ウ 取り上げられた(不正など)	57	41.6
エ その他	14	10.2
有効回答者数	137	100.0
不明	2	
非該当	152	
合計	291	

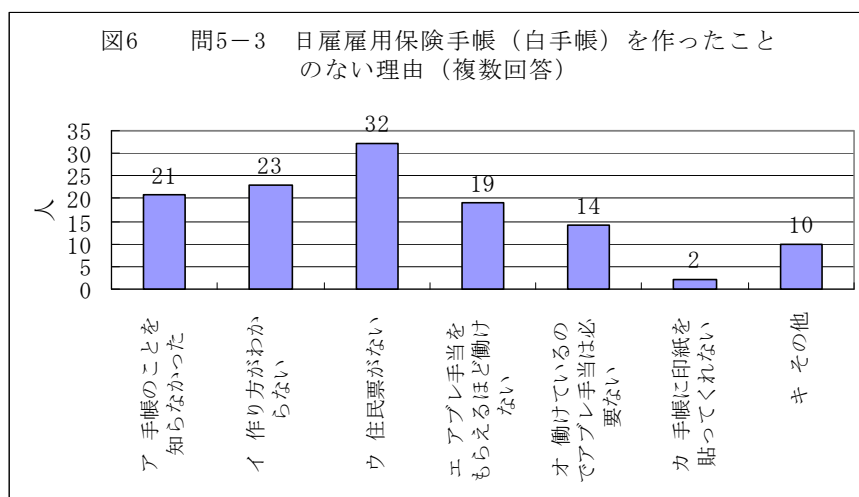
図5 問5-2 日雇雇用保険手帳（白手帳）を以前持っていた場合の今は持っていない理由



日雇雇用保険手帳（白手帳）を以前持っていた者に、今は持っていない理由を聞いたところ、「取り上げられた（不正など）」、「アブレ手当てをもらえるほど働けなくなった」と回答した者が相対的に多く、それぞれ 57 人（41.6%）、55 人（40.1%）と 4 割を超えている。

表 8 問 5-3 日雇雇用保険手帳（白手帳）を作ったことのない理由（複数回答）

	人数	割合
ア 手帳のことを知らなかった	21	21.6
イ 作り方がわからない	23	23.7
ウ 住民票がない	32	33.0
エ アブレ手当をもらえるほど働けない	19	19.6
オ 働けているのでアブレ手当は必要ない	14	14.4
カ 手帳に印紙を貼ってくれない	2	2.1
キ その他	10	10.3
有効回答数	121	124.7
有効回答者数	97	
不明	1	
非該当	193	
合計	291	



日雇雇用保険手帳（白手帳）を作ったことがないと回答した者に対して、作ったことのない理由を問うた結果が表 8、図 6 である。「住民票がない」と回答した者が最も多く 32 人（33.0%）と 3 割を超えている。また、「作り方がわからない」、「手帳のことを知らなかった」、「アブレ手当をもらえるほど働けない」と回答した者も相対的に多く、それぞれ 23 人（23.7%）、21 人（21.6%）、19 人（19.6%）となっている。

表 9 問 6-1 日雇健康保険に加入していますか。（現在）

	人数	割合
有	13	4.6
無	269	95.4
有効回答者数	282	100.0
不明	9	
合計	291	

表 10 問 6-2 建退共手帳に加入していますか。（現在）

	人数	割合
有	10	3.6
無	270	96.4
有効回答者数	280	100.0
不明	11	
合計	291	

表 11 問 6-3 国民健康保険に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	36	12.6
無	249	87.4
有効回答者数	285	100.0
不明	6	
合計	291	

表 12 問 6-4 国民年金に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	31	11.1
無	249	88.9
有効回答者数	280	100.0
不明	11	
合計	291	

問 6 では、日雇健康保険、建退共手帳、国民健康保険、国民年金への加入状況について質問している(表 9~12)。まず、日雇健康保険については、加入していない者が 269 人(95.4%)で 9 割 5 分を超えている。建退共手帳については、加入していない者が 270 人(96.4%)となっており、9 割 5 分以上が加入していない。また、国民健康保険については、加入していない者が 249 人(87.4%)となっており、8 割 5 分以上が加入していないことがわかる。さらに、国民年金(厚生年金)については、加入していない者が 249 人(88.9%)となっており、9 割近くが加入していないことがわかる。いずれの制度にも加入していないと回答した者が、圧倒的多数に上っているといえる。

表 13 問 7 (55 歳以上の方に)特別清掃カードを持っていますか

	人数	割合
①持っている	281	100.0
②以前は持っていたが、今年を持っていない	0	0.0
③作っていない	0	0.0
有効回答者数	281	100.0
不明	10	
非該当	0	
合計	291	

55 歳以上の者に対して、特別清掃カードを有しているかどうかについて聞いたところ、

全員が「持っている」と回答した（表 13）。これは、この調査が特別清掃事業を利用して
いる者に対して実施されているためだと考えられる。

表 14 問 7-1 特別清掃カードを持っている方の輪番への参加状況

	人数	割合
ア いつも来る	237	90.5
イ たまに	22	8.4
ウ めったに来ない	3	1.1
その他	0	0.0
有効回答者数	262	100.0
不明	19	
非該当	10	
合計	291	

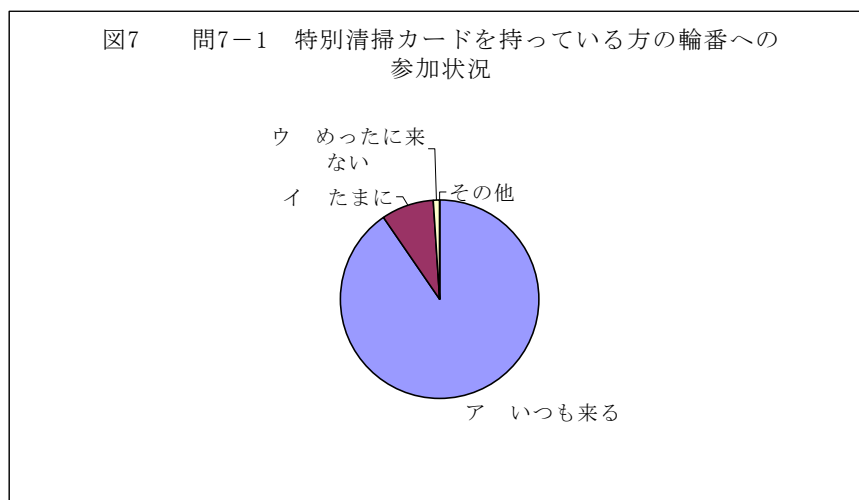


表 14、図 7 は、特別清掃カードを持っていると回答した者に対して、輪番への参加状況
を聞いた結果である。これによると、「いつも来る」と回答した者が 237 人（90.5%）
と 9 割を超えており、圧倒的多数に上っていることがわかる。

表 15 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008年9月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日の合計】

	人数	割合
なし	210	72.2
1-5日	36	12.4
6-10日	29	10.0
11-15日	11	3.8
16-20日	3	1.0
21-25日	2	0.7
26日以上	0	0.0
有効回答者数	291	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	291	

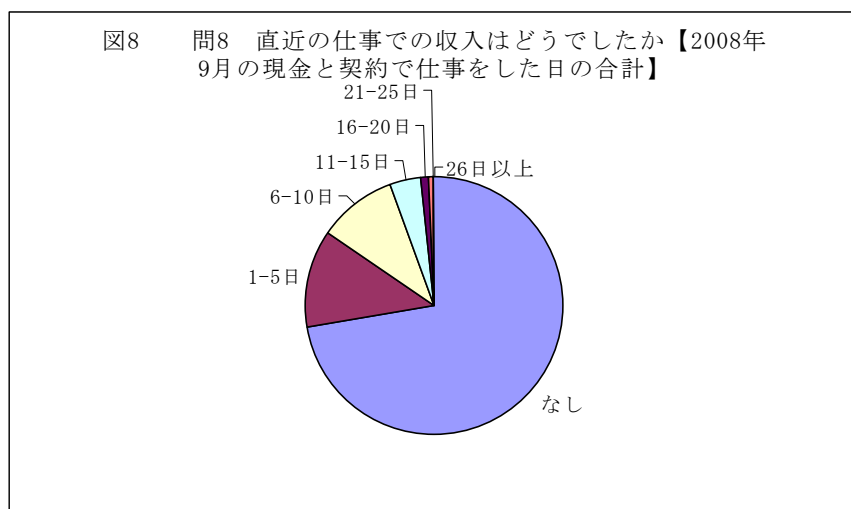


表 15、図 8 は、2008 年 9 月の現金（日雇）と契約（期間）で仕事をした日を合計した結果を示したものである。これによると、「なし」と回答した者が 210 人（72.2%）と 7 割を超えて圧倒的多数を占めていることがわかる。また、「1-5 日」、「6-10 日」と回答した者はそれぞれ 36 人（12.4%）、29 人（10.0%）と 1 割を超えている。

表 16 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008年9月の特別清掃の日数】

	人数	割合
なし	13	4.5
1日	6	2.1
2日	12	4.1
3日	121	41.6
4日	137	47.1
5日以上	2	0.7
有効回答者数	291	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	291	

図 9 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか【2008年9月の特別清掃の日数】

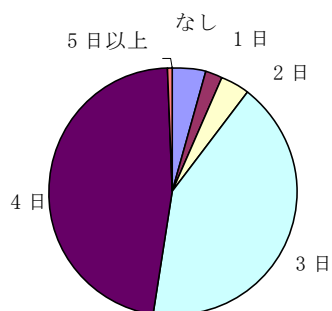


表 16、図 9 は、2008年9月の特別清掃に参加した日数を聞いた結果を示したものである。相対的に、「4日」、「3日」と回答した者が多く、それぞれ137人（47.1%）、121人（41.6%）となっており、この二つの項目だけで9割近くに達していることがわかる。

表 17 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008年9月の収入】

	人数	割合
1万円未満	4	1.4
1-5万円台	214	73.8
6-10万円台	48	16.6
11-15万円台	18	6.2
16-20万円台	2	0.7
21-25万円台	3	1.0
26-30万円台	0	0.0
31万円以上	1	0.3
有効回答者数	290	100.0
不明	1	
非該当	0	
合計	291	

※仕事による収入源には、アルミ缶集め、ダンボール集めなどによるものを含む。

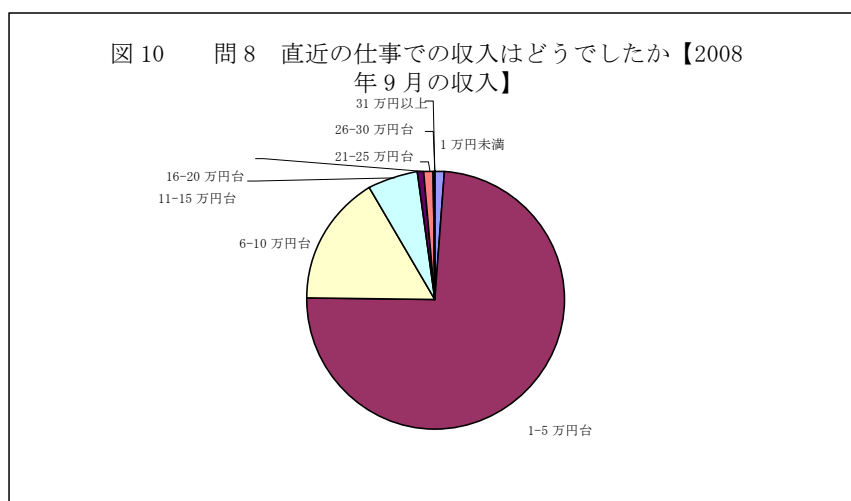


表 17、図 10 は、2008年9月の仕事による収入額について聞いた結果を示したものである。最も多かったのは「1-5万円台」と回答した者で214人（73.8%）と全体の約4分の3に達している。また、「6-10万円」と回答した者は48人（16.6%）で1割5分を占めている。

表 18 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008年10月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日の合計】

	人数	割合
なし	208	71.5
1-5日	42	14.4
6-10日	21	7.2
11-15日	17	5.8
16-20日	2	0.7
21-25日	1	0.3
26日以上	0	0.0
有効回答者数	291	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	291	

図11 問8 直近の仕事での収入はどうでしたか【2008年10月の現金と契約で仕事をした日の合計】

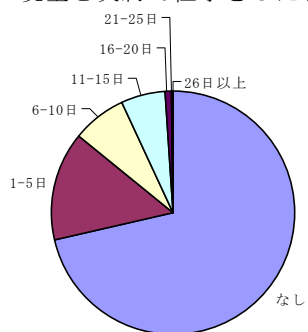


表 18、図 11 は、2008 年 10 月の現金（日雇）と契約（期間）で仕事をした日を合計した結果を示したものである。これによると、「なし」と回答した者が 208 人（71.5%）と 7 割を超えて圧倒的多数を占めていることがわかる。また、「1-5 日」と回答した者は 42 人（14.4%）と一定数を占めている。

表 19 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008年10月の特別清掃の日数】

	人数	割合
なし	11	3.8
1日	8	2.7
2日	15	5.2
3日	93	32.0
4日	161	55.3
5日以上	3	1.0
有効回答者数	291	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	291	

図12 問8 直近の仕事での収入はどうでしたか【2008年10月の特別清掃の日数】

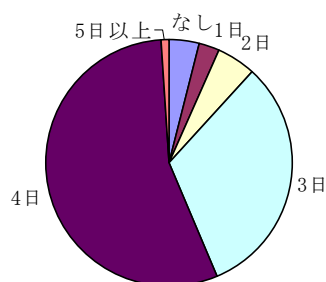


表 19、図 12 は、2008 年 10 月の特別清掃に参加した日数を聞いた結果を示したものである。相対的に、「4 日」、「3 日」と回答した者が多く、それぞれ 161 人（55.3%）、93 人（32.0%）となっており、この二つの項目だけで 8 割 5 分を超えていることがわかる。

表 20 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008年10月の収入】

	人数	割合
1万円未満	5	1.7
1-5万円台	215	74.4
6-10万円台	44	15.2
11-15万円台	21	7.3
16-20万円台	0	0.0
21-25万円台	4	1.4
26-30万円台	0	0.0
31万円以上	0	0.0
有効回答者数	289	100.0
不明	2	
非該当	0	
合計	219	

※仕事による収入源には、アルミ缶集め、ダンボール集めなどによるものを含む。

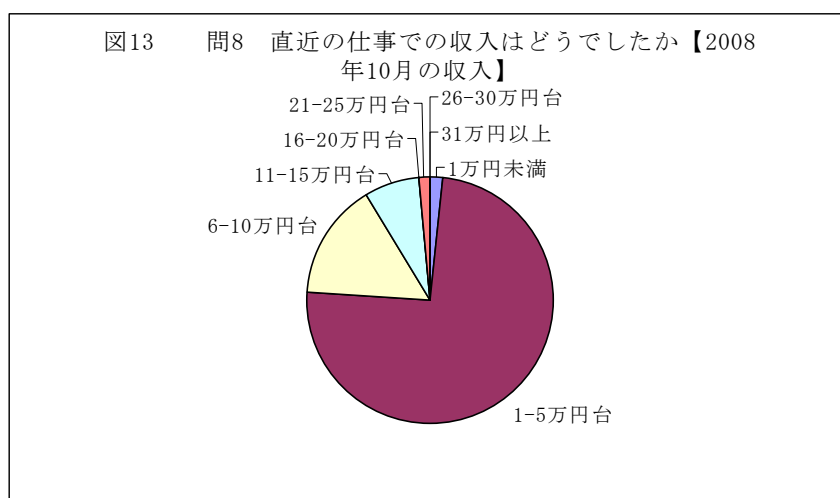


表 20、図 13 は、2008 年 10 月の仕事による収入額について聞いた結果を示したものである。これによると、最も多かったのは「1-5万円台」と回答した者で 215 人（74.4%）と全体の約 4 分の 3 に達している。また、「6-10万円」と回答した者は 44 人（15.2%）で 1 割 5 分を占めている。

表 21 問 9 9月、10月に現金や契約で仕事をしていない理由は
何ですか

	人数	割合
①仕事を探したが見つからなかった	114	55.6
②仕事を全く探していない	91	44.4
有効回答者数	205	100.0
不明	3	
非該当	83	
合計	291	

表 21 は、2008 年 9 月、10 月の 2 ヶ月間に現金、契約のいずれにおいても仕事をしていなかった者に対して、仕事を探したかどうかを質問した結果を示したものである。これによると、「仕事を探したが見つからなかった」と回答した者が 114 人 (55.6%)、「仕事を全く探していない」と回答した者が 91 人 (44.4%) で、仕事を探していたものの見つからなかったという者の方が多くなっていることがわかる。

表 22 問 9-1 その理由は何ですか(複数回答)

	人数	割合
①年齢で断られた(断られる)	74	36.8
②仕事が少ない	59	29.4
③健康に不安がある(高血圧等)	62	30.8
④体力に不安がある	45	22.4
⑤特別清掃しかできない	41	20.4
⑥自分の能力に合う仕事がない	22	10.9
⑦その他	24	11.9
有効回答数	327	162.7
有効回答者数	201	
不明	5	
非該当	85	
合計	291	

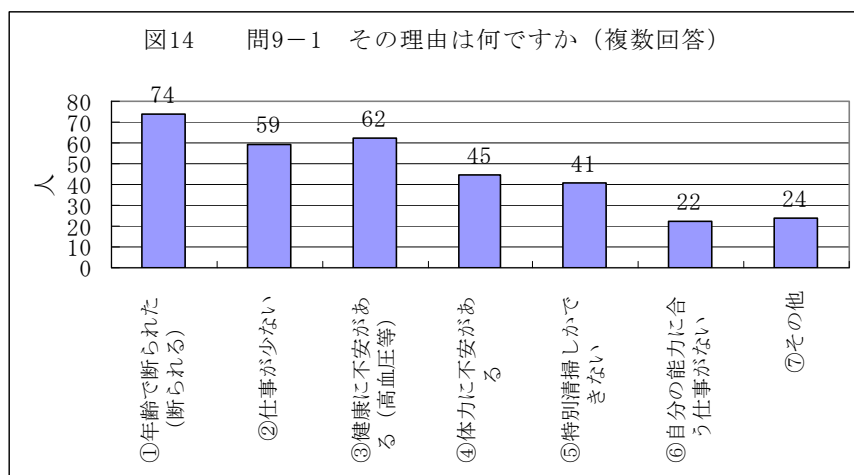
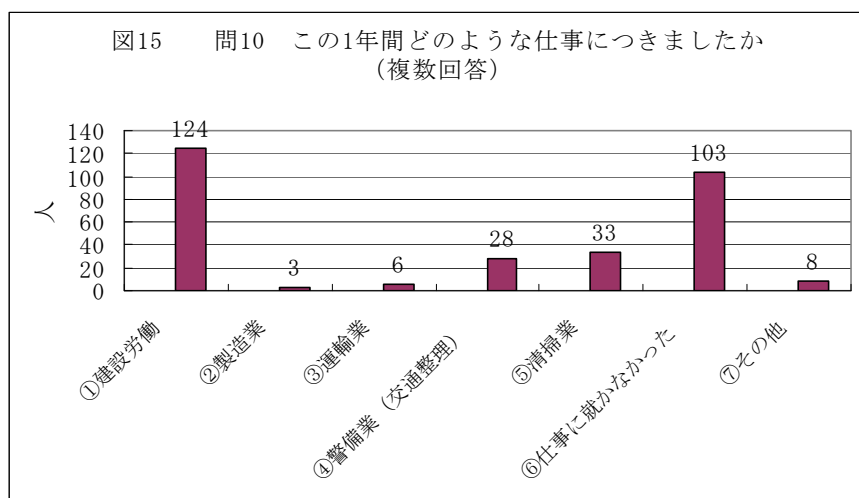


表 22、図 14 は、2008 年 9 月、10 月の 2 ヶ月間に現金、契約のいずれにおいても仕事をしていなかった者に対して、その理由を問うた結果を示したものである。これによると、最も多かったのは「年齢で断られた（断られる）」と回答した者で 74 人（36.8%）、次に多かったのは、「健康に不安がある（高血圧等）」と回答した者で 62 人（30.8%）といずれも 3 割を超えている。また、「仕事が少ない」と回答した者も 59 人（29.4%）みられ、3 割近くに上っている。

表 23 問 10 この1年間どのような仕事につきましたか
(複数回答)

	人数	割合
①建設労働	124	44.6
土工	103	37.1
とび工	6	2.2
鉄筋工	6	2.2
型枠大工	1	0.4
解体工	9	3.2
職長	1	0.4
その他職人	8	2.9
不明	3	1.1
②製造業	3	1.1
③運輸業	6	2.2
④警備業(交通整理)	28	10.1
⑤清掃業	33	11.9
⑥仕事に就かなかった	103	37.1
⑦その他	8	2.9
有効回答数	442	159.0
有効回答者数	278	
不明	13	
合計	291	



この1年間にどのような仕事についたかを複数回答で聞いたところ、最も多かったのが

「建設労働」と回答した者で 124 人（44.6%）と 4 割 5 分近くに達している（表 23、図 15）。次に多かったのが「仕事に就かなかった」と回答した者で 103 人（37.1%）と 3 割 5 分を超えている。なお、「建設労働」の内訳について回答が得られたなかでは、「土工」と回答した者が最も多くなっている。

表 24 問 11 主にどこで仕事を探しますか

	人数	割合
①センターの寄場内	120	51.7
②センターの周辺路上(あいりん地域内)	45	19.4
③あいりん地域外	10	4.3
④特に決まっていない	52	22.4
⑤直接現場に行くので仕事を探す場所はない	5	2.2
有効回答者数	232	100.0
不明	52	
非該当	7	
合計	291	

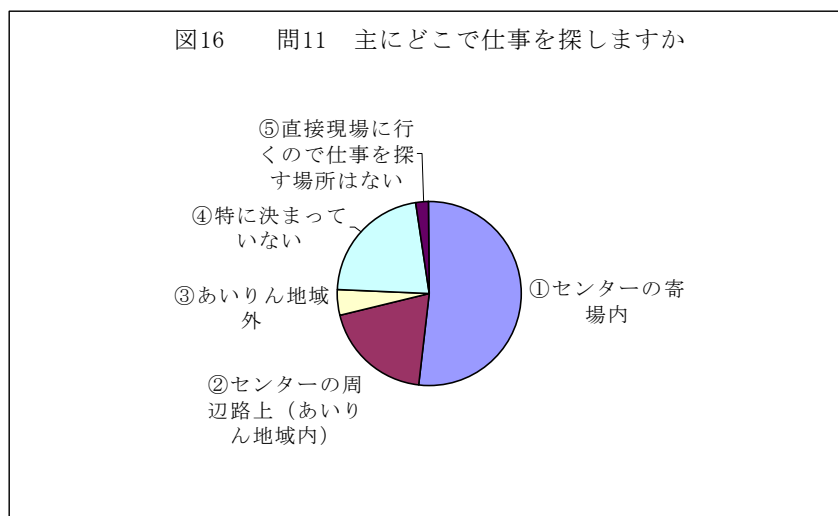


表 24、図 16 は、主にどこで仕事を探しているかを聞いた結果を示したものである。「センターの寄場内」と回答した者が最も多く、120 人（51.7%）と過半数を占めている。また、「特に決まっていない」、「センターの周辺路上（あいりん地域内）」と回答した者もそれぞれ 52 人（22.4%）、45 人（19.4%）で約 2 割に上っている。

表 25 問 11-1 その場所を選ぶことが多い理由は何ですか

	人数	割合
①なじみの業者がいる	56	31.8
②業者からその場所に来よう指示がある	1	0.6
③業者からの声がかかりやすい	40	22.7
④仲間や知人がいる	29	16.5
⑤特に理由はない	49	27.8
⑥その他	1	0.6
有効回答者数	176	100.0
不明	12	
非該当	103	
合計	291	

図 17 問11-1 その場所を選ぶことが多い理由は何ですか

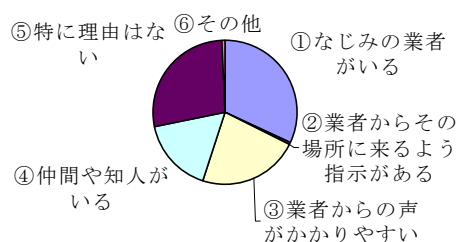


表 25、図 17 は、主に仕事を探している場所が決まっている者に対して、その場所を選んだ理由について聞いた結果を示したものである。「なじみの業者がいる」と回答した者が 56 人（31.8%）と 3 割を超えている。また「特に理由はない」、「業者からの声がかかりやすい」と回答した者も一定数おり、それぞれ 49 人（27.8%）、40 人（22.7%）に上っている。

表 26 問 11-2 その場所へは、定期的に行っていますか

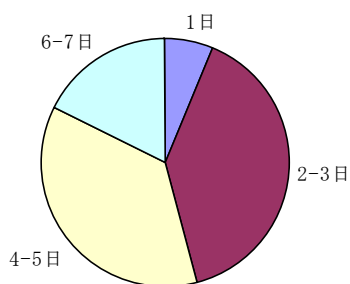
	人数	割合
①はい	98	52.7
②いいえ	88	47.3
有効回答者数	186	100.0
不明	2	
非該当	103	
合計	291	

表 26 は、主に仕事を探している場所が決まっている者に対して、そこへ定期的に行っているかどうかについて見たものである。「はい」と回答した者が 98 人（52.7%）、「いいえ」と回答した者が 88 人（47.3%）となっており、定期的はその場所へ行っているの方が若干多いことがみてとれる。

表 27 問 11-2① その場所へ定期的に行っている日数(1 週間に○日)

	人数	割合
1 日	6	6.3
2-3 日	38	39.6
4-5 日	35	36.5
6-7 日	17	17.7
有効回答者数	96	100.0
不明	2	
非該当	193	
合計	291	

図18 問11-2① その場所へ定期的に行っている日数
(1週間に○日)



主に仕事を探す場所が決まっている者が、その場所へ定期的に行っている場合、その日数を聞いたところ、1週間あたり「2-3日」、「4-5日」と回答した者が相対的に多く、38人（39.6%）、35人（36.5%）と3割5分を超えている。また、「6-7日」と回答した者も17人（17.7%）みられ、一定数を占めている。

表 28 問 12 なじみの事業所(よく行く働き先)はありますか

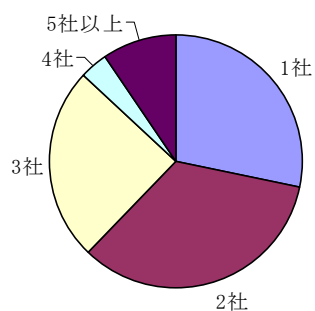
	人数	割合
①ある	87	32.1
②ない	184	67.9
有効回答者数	271	100.0
不明	20	
非該当	0	
合計	291	

なじみの事業所の有無について聞いたところ、「ある」と回答した者が87人（32.1%）、「ない」と回答した者が184人（67.9%）となっている（表28）。なじみの事業所（よく行く働き先）を有していない者が圧倒的に多いことが分かる。

表 29 問 12① なじみの事業所(よく行く働き先)がある場合の事業所数

	人数	割合
1社	24	28.2
2社	29	34.1
3社	21	24.7
4社	3	3.5
5社以上	8	9.4
有効回答者数	85	100.0
不明	2	
非該当	204	
合計	291	

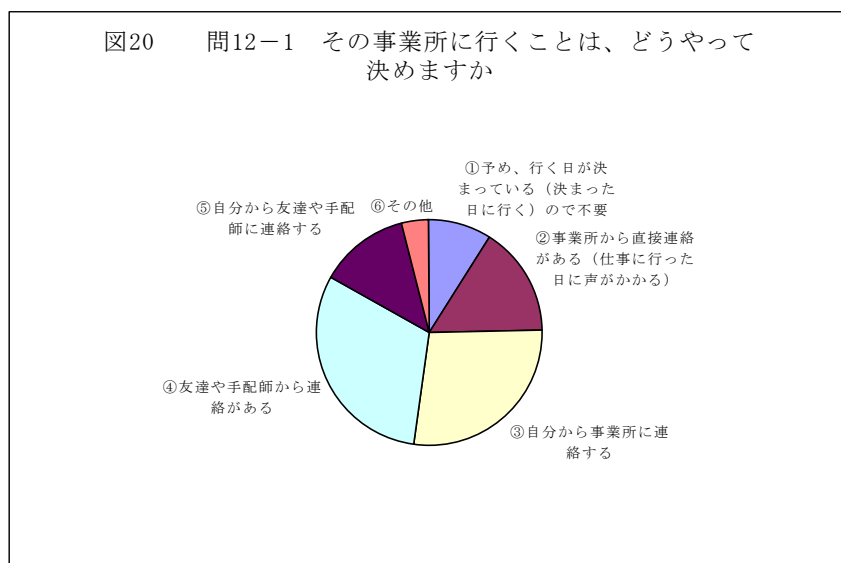
図19 問12① なじみの事業所（よく行く働き先）がある場合の事業所数



なじみの事業所があると回答した者に、その数を聞いたところ、相対的に多かったのは「2社」、「1社」、「3社」と回答した者で、それぞれ29人（34.1%）、24人（28.2%）、21人（24.7%）となっている（表29、図19）。なじみの事業所の数は1～3社であるという者が、8割5分を超えていることがわかる。

表30 問12-1 その事業所に行くことは、どうやって決めますか

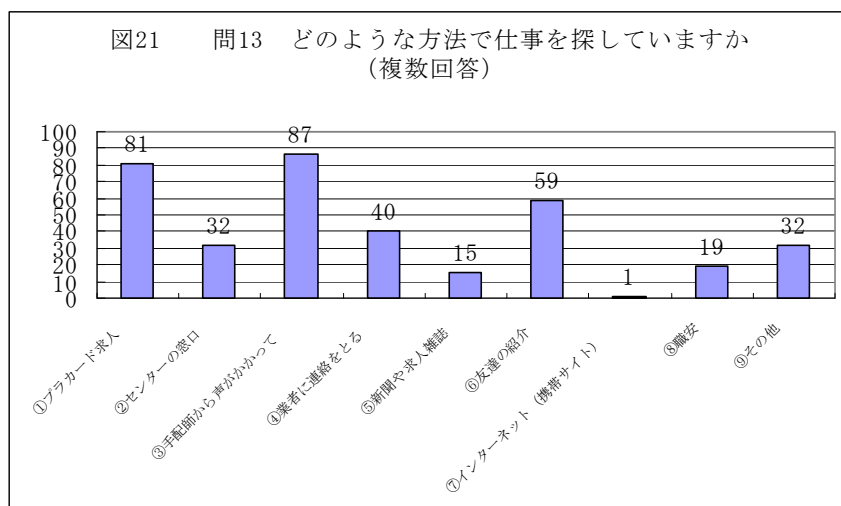
	人数	割合
①予め、行く日が決まっている(決まった日に行く)ので不要	7	9.1
②事業所から直接連絡がある(仕事に行った日に声がかかる)	12	15.6
③自分から事業所に連絡する	21	27.3
④友達や手配師から連絡がある	24	31.2
⑤自分から友達や手配師に連絡する	10	13.0
⑥その他	3	3.9
有効回答者数	77	100.0
不明	29	
非該当	185	
合計	291	



さらに、その事業所に行くことはどうやって決めるかを聞いた結果を示したのが表30、図20である。「友達や手配師から連絡がある」と回答した者が最も多く24人（31.2%）で3割を超えている。次に多かったのが、「自分から事業所に連絡する」と回答した者で21人（27.3%）と2割5分を超えている。

表31 問13 どのような方法で仕事を探していますか（複数回答）

	人数	割合
①プラカード求人	81	31.9
②センターの窓口	32	12.6
③手配師から声がかかって	87	34.3
④業者に連絡をとる	40	15.7
⑤新聞や求人雑誌	15	5.9
⑥友達の紹介	59	23.2
⑦インターネット（携帯サイト）	1	0.4
⑧職安	19	7.5
⑨その他	32	12.6
有効回答数	366	144.1
有効回答者数	254	
不明	37	
合計	291	



どのような方法で仕事を探しているかを複数回答で聞いたところ、相対的に多かったのは、「手配師から声がかかって」、「プラカード求人」と回答した者で、それぞれ、87人（34.3%）、81人（31.9%）と3割を超えている。また、「友達の紹介」と回答した者も59人（23.2%）で相対的に多くなっており、4分の1弱を占めている。

表32 問14 携帯電話で仕事探しをしたり、携帯電話で仕事の連絡をしたりすることがありますか

	人数	割合
①ある	53	18.6
②ない(携帯電話を持っていない)	232	81.4
有効回答者数	285	100.0
不明	6	
合計	291	

表32は、携帯電話で仕事を探したり、携帯電話で仕事の連絡をしたりすることがあるかどうかを聞いた結果を示したものである。「ある」と回答したものが53人（18.6%）、「ない（携帯電話を持っていない）」と回答した者が232人（81.4%）となっており、携帯電話を有していない者は8割を超えていることがわかる。

表 33 問 15 仕事を探す時プラカードを参考にしますか？

	人数	割合
①参考にしている	149	53.6
②参考にしていない	50	18.0
③自分にとっては関係ない	63	22.7
④プラカードが何かわからない	16	5.8
有効回答者数	278	100.0
不明	12	
非該当	1	
合計	291	

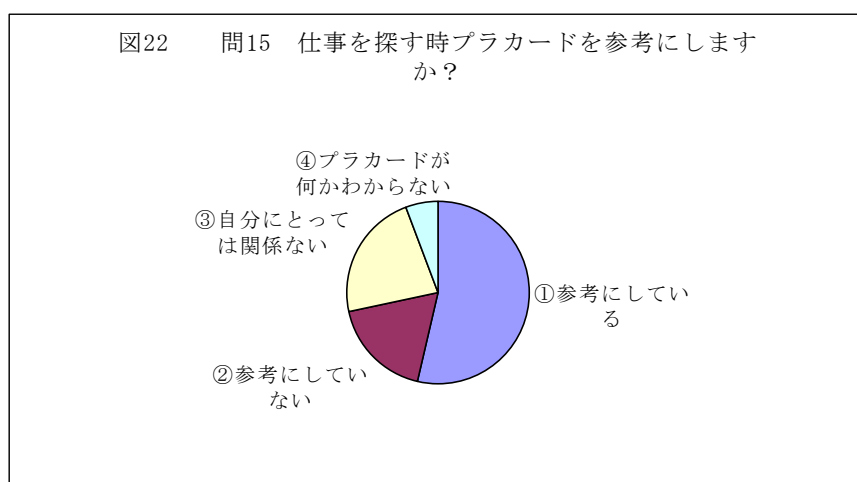
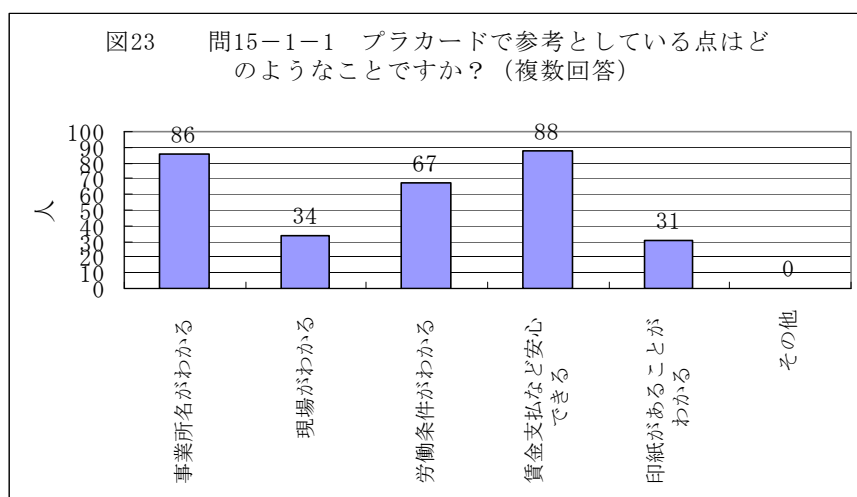


表 33、図 22 は、仕事を探す時に、プラカードを参考にするかどうかを聞いた結果を示したものである。「参考にしている」と回答した者が最も多く 149 人（53.6%）と半数を超えている。一方で、「自分にとっては関係ない」、「参考にしていない」と回答した者はそれぞれ 63 人（22.7%）、50 人（18.0%）みられた。

表 34 問 15-1-1 プラカードで参考としている点はどのようなことですか？(複数回答)

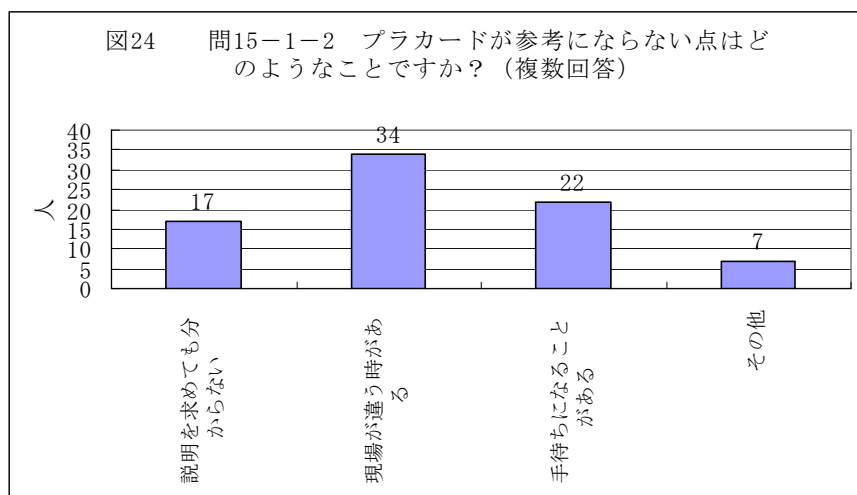
	人数	割合
事業所名がわかる	86	59.3
現場がわかる	34	23.4
労働条件がわかる	67	46.2
賃金支払など安心できる	88	60.7
印紙があることがわかる	31	21.4
その他	0	0.0
有効回答数	306	211.0
有効回答者数	145	
不明・無回答	4	
非該当	142	
合計	291	



仕事を探す時に、プラカードを参考にしてしている者に対して、プラカードで参考にしてい
る点はどうのことかを、複数回答で聞いた結果を示したのが表 34、図 23 である。相
対的に多かったのは、「賃金支払など安心できる」、「事業所名がわかる」、「労働条件がわ
かる」と回答した者で、それぞれ 88 人 (60.7%)、86 人 (59.3%)、67 人 (46.2%) と一
定数を占めている。

表 35 問 15-1-2 プラカードが参考とならない点はどのようなことですか？（複数回答）

	人数	割合
説明を求めても分からない	17	23.9
現場が違う時がある	34	47.9
手待ちになることがある	22	31.0
その他	7	9.9
有効回答数	80	112.7
有効回答者数	71	
不明・無回答	128	
非該当	92	
合計	291	



仕事を探す時に、プラカードを参考に行っている者と、参考に行っていない者に対して、プラカードが参考とならない点はどのようなことかを聞いた結果を示したのが表 35、図 24 である。最も多かったのが「現場が違う時がある」と回答した者で、34 人（47.9%）と半数近くを占めている。

表 36 問 16 西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っていますか

	人数	割合
①知っている	253	87.8
②知らない	35	12.2
有効回答者数	288	100.0
不明	3	
合計	291	

表 36 は、西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っているかどうかを聞いた結果を示したものである。「知っている」と回答した者が 253 人（87.8%）と 8 割 5 分を超えて圧倒的に多くなっている。

表 37 問 16-1 窓口紹介の方法で改善したほうがいいと思うことはどのようなことですか(複数回答)

	人数	割合
①抽選紹介ではなく技能に応じた紹介してほしい	44	18.3
②紹介の時間帯を変えてほしい	6	2.5
③仕事の内容をもっと詳しく説明してほしい	75	31.3
④宿舎(寄宿舎)の状況をもっと詳しく教えてほしい	36	15.0
⑤携帯電話で求人内容を見れるようにしてほしい	12	5.0
⑥その他	24	10.0
⑦特にない	75	31.3
有効回答数	272	113.3
有効回答者数	240	
不明	13	
非該当	38	
合計	291	

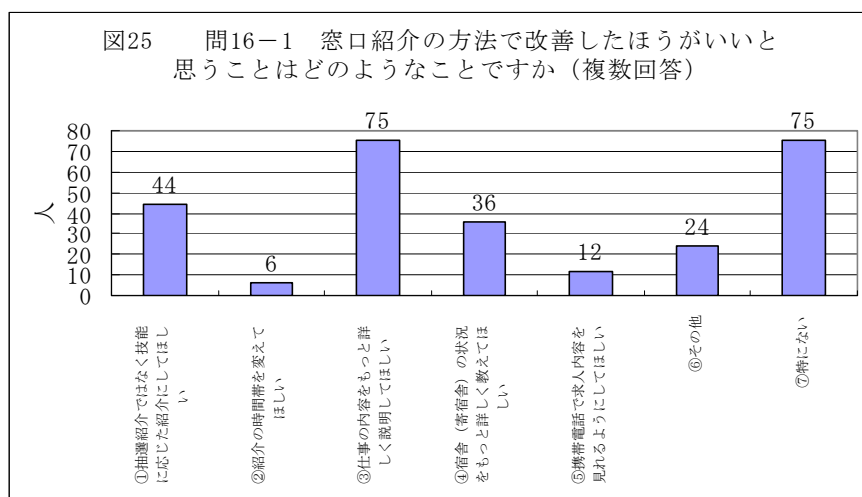
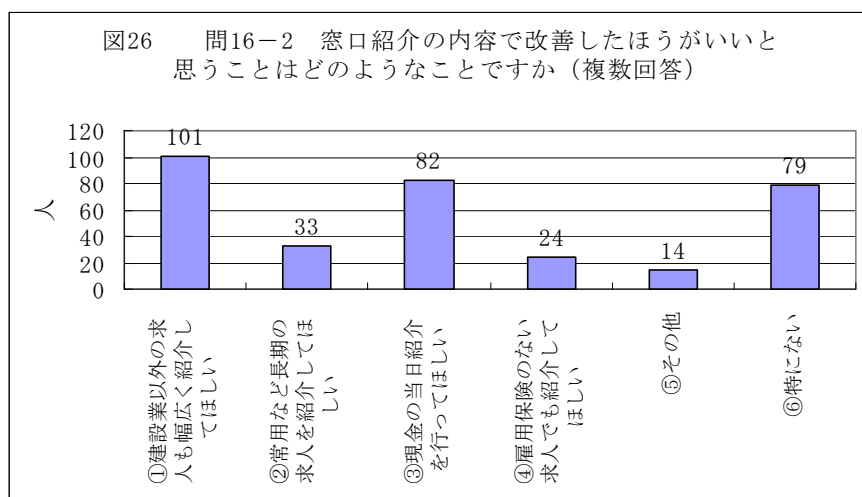


表 37、図 25 は、西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っている者に対して、窓口紹介の方法で改善したほうが良いと思うことはどのようなことかを複数回答で聞いた結果を示したものである。「仕事の内容をもっと詳しく説明してほしい」、「特にない」と回答した者が、いずれも 75 人（31.3%）で最も多くなっており、3 割を超えている。また、「抽選紹介ではなく技能に応じた紹介にしてほしい」と回答した者も 44 人（18.3%）みられ、2 割弱に上っている。

表 38 問 16-2 窓口紹介の内容で改善したほうが良いと思うことはどのようなことですか（複数回答）

	人数	割合
①建設業以外の求人も幅広く紹介してほしい	101	41.9
②常用など長期の求人を紹介してほしい	33	13.7
③現金の当日紹介を行ってほしい	82	34.0
④雇用保険のない求人でも紹介してほしい	24	10.0
⑤その他	14	5.8
⑥特にない	79	32.8
有効回答数	333	138.2
有効回答者数	241	
不明	12	
非該当	38	
合計	291	



さらに、窓口紹介の内容で改善したほうがいいと思うことはどのようなことかを複数回答で聞いたところ、最も多かったのは「建設業以外の求人も幅広く紹介してほしい」と回答した者で101人（41.9%）と4割を超えている。また、「現金の当日紹介を行ってほしい」、「特にない」と回答した者も相対的に多くなっており、それぞれ82人（34.0%）、79人（32.8%）で3割強に上っている。

表39 問17 西成労働福祉センターの他、あいりん労働センターでよく使う(週1日以上)施設は、どこですか(複数回答)

	人数	割合
①あいりん職安	49	17.5
②玉出社会保険事務所の窓口	2	0.7
③食堂、売店	137	48.9
④理髪店	6	2.1
⑤ロッカールーム	11	3.9
⑥シャワールーム	66	23.6
⑦その他	9	3.2
⑧特にない	75	26.8
有効回答数	355	126.8
有効回答者数	280	
不明	11	
合計	291	

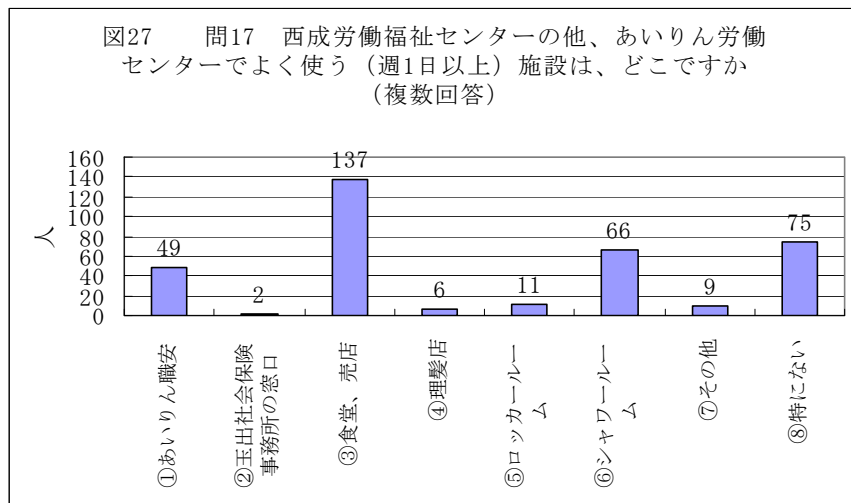
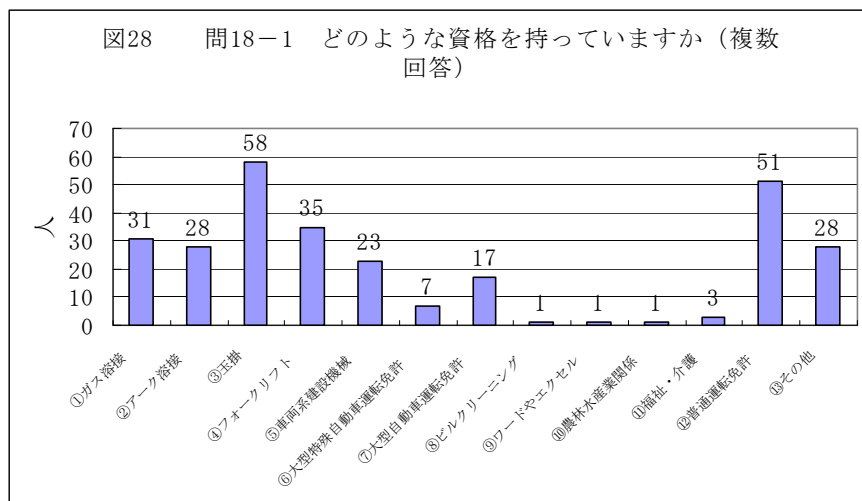


表 39、図 27 は、西成労働福祉センターの他、あいりん労働センターでよく使う（週 1 日以上）施設はどこかを、複数回答で聞いた結果を示したものである。最も多かったのが「食堂、売店」と回答した者で 137 人（48.9%）と半数近くを占めている。また「特にない」、「シャワールーム」、「あいりん職安」も相対的に多く、それぞれ 75 人（26.8%）、66 人（23.6%）、49 人（17.5%）と一定数に上っている。

表 40 問 18-1 どのような資格を持っていますか(複数回答)

	人数	割合
①ガス溶接	31	25.8
②アーク溶接	28	23.3
③玉掛	58	48.3
④フォークリフト	35	29.2
⑤車両系建設機械	23	19.2
⑥大型特殊自動車運転免許	7	5.8
⑦大型自動車運転免許	17	14.2
⑧ビルクリーニング	1	0.8
⑨ワードやエクセル	1	0.8
⑩農林水産業関係	1	0.8
⑪福祉・介護	3	2.5
⑫普通運転免許	51	42.5
⑬その他	28	23.3
有効回答数	284	236.7
有効回答者数	120	
不明・無回答	171	
合計	291	

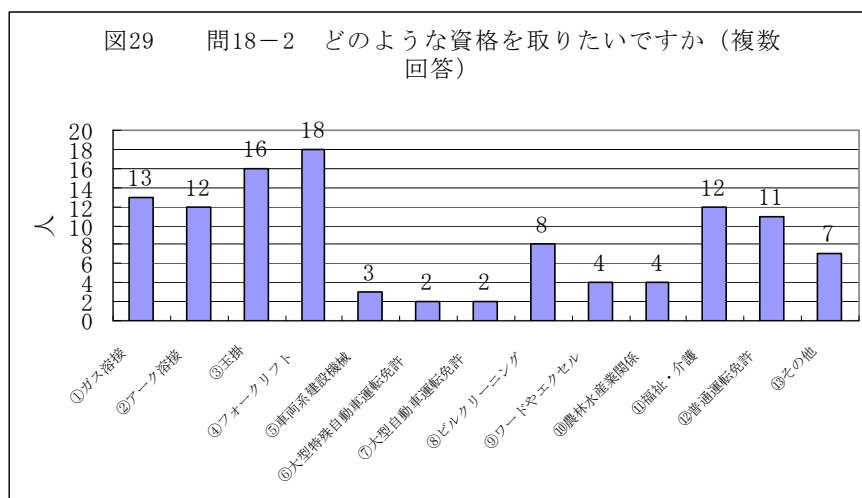


どのような資格を持っているのかを複数回答で聞いた結果を示したのが表 40、図 28 である。多いのは、「玉掛」、「普通運転免許」と回答した者で、それぞれ 58 人 (48.3%)、51 人 (42.5%) となっている。また、「フォークリフト」、「ガス溶接」と回答した者も相対的に多く、それぞれ 35 人 (29.2%)、31 人 (25.8%) みられる。

一方、資格を有している者が少なかった項目は「ビルクリーニング」、「ワードやエクセル」、「農林水産業関係」、「福祉・介護」である。

表 41 問 18-2 どのような資格を取りたいですか(複数回答)

	人数	割合
①ガス溶接	13	20.0
②アーク溶接	12	18.5
③玉掛	16	24.6
④フォークリフト	18	27.7
⑤車両系建設機械	3	4.6
⑥大型特殊自動車運転免許	2	3.1
⑦大型自動車運転免許	2	3.1
⑧ビルクリーニング	8	12.3
⑨ワードやエクセル	4	6.2
⑩農林水産業関係	4	6.2
⑪福祉・介護	12	18.5
⑫普通運転免許	11	16.9
⑬その他	7	10.8
有効回答数	112	172.3
有効回答者数	65	
不明・無回答	226	
合計	291	



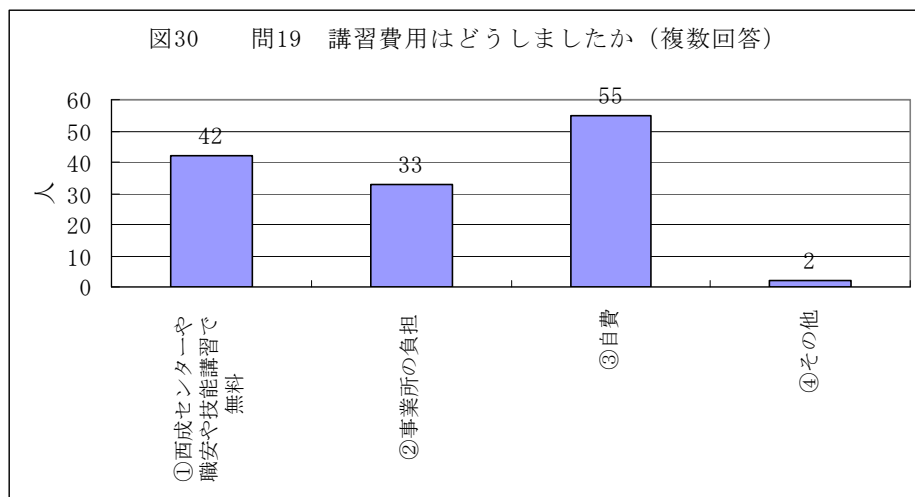
次に、どのような資格を取りたいかについて質問した結果を示したのが表 41、図 29 で

ある。相対的に多かったのは「フォークリフト」、「玉掛」と回答した者で、それぞれ 18 人（27.7%）、16 人（24.6%）とおおよそ 2 割 5 分に上っている。

一方、すでに資格を持っていると回答した者の少なかった項目である「ビルクリーニング」、「ワードやエクセル」、「農林水産業関係」、「福祉・介護」についてはそれほど多くはないものの、資格の取得を希望する者がみられる。とくに「福祉・介護」については 12 人（18.5%）と、2 割近くの者が資格の取得を希望している。

表 42 問 19 講習費用はどうしましたか(複数回答)

	人数	割合
①西成センターや職安や技能講習で無料	42	36.5
②事業所の負担	33	28.7
③自費	55	47.8
④その他	2	1.7
有効回答数	132	114.8
有効回答者数	115	
不明・非該当	176	
合計	291	



前問で何らかの資格を取得していると回答した者に対して、その講習費用をどうしたのかについて複数回答で聞いた結果を示したのが表 42、図 30 である。「自費」が 55 人（47.8%）で最も多くなっている。ただし、「西成センターや職安や技能講習で無料」、「事業所の負担」と回答した者も一定数おり、それぞれ 42 人（36.5%）、33 人（28.7%）に上っている。

表 43 問 20 会社勤めなど常用の仕事を希望していますか

	人数	割合
①希望している	144	50.2
②希望していない	143	49.8
有効回答者数	287	100.0
不明	4	
合計	291	

表 43 は、会社勤めなど常用の仕事を希望しているかどうかについてみたものである。「希望している」と回答した者が 144 人（50.2%）、「希望していない」と回答した者が 143 人（49.8%）となっており、いずれも半数を占めていることがわかる。

表 44 問 20-1 希望する職種は何ですか
（複数回答）

	人数	割合
①建設業	39	27.1
②製造業	27	18.8
③運輸業	14	9.7
④清掃業	64	44.4
⑤警備業	30	20.8
⑥農林漁業	6	4.2
⑦事務	2	1.4
⑧その他	14	9.7
有効回答数	196	136.1
有効回答者数	144	
不明	0	
非該当	147	
合計	291	

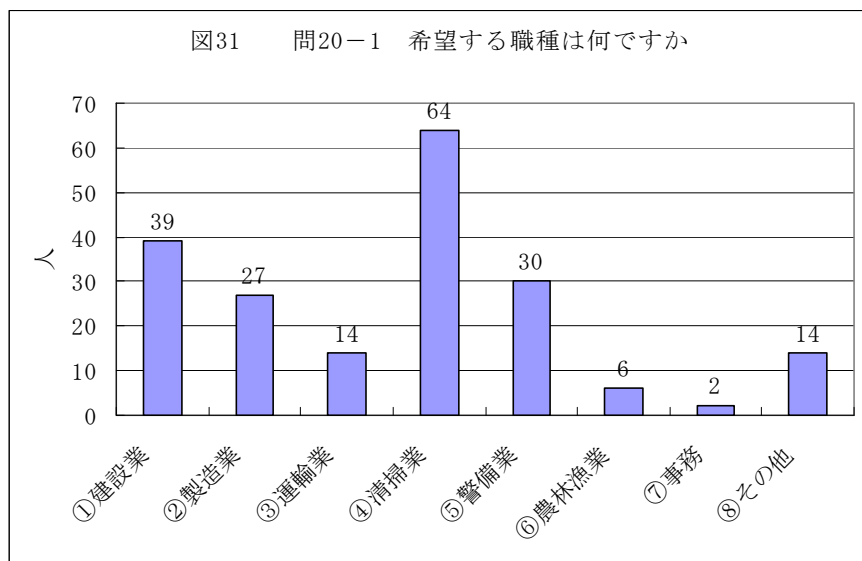


表 44、図 31 は、会社勤めなど常用の仕事を希望していると回答した者に対して、希望する職種を複数回答で聞いた結果を示したものである。「清掃業」と回答した者が最も多く 64 人（44.4%）で約 4 割 5 分を占めている。この調査が特別清掃事業を利用している者を対象としていることから、清掃業に経験をつんでいたり、自信があったりして、常勤の仕事としても「清掃業」を希望する者が多いのかもしれない。

表 45 問 20-2 常用就職するために、どのような手助けがほしいでしょうか(複数回答)

	人数	割合
①技能講習	16	11.2
②現場実習訓練	11	7.7
③教養講座	2	1.4
④求人情報の提供	37	25.9
⑤自分に向けた就職のあっせん	52	36.4
⑥適性相談(キャリアカウンセリング)	15	10.5
⑦就職活動のノウハウの提供(履歴書の書き方や面接への対応方法など)	10	7.0
⑧当座の生活資金の援助	55	38.5
⑨住宅借上げの支援(保証人)	40	28.0
⑩就職に当たっての身元保証	43	30.1
⑪就職後の相談支援	18	12.6
⑫その他	8	5.6
有効回答数	307	214.7
有効回答者数	143	
不明	1	
非該当	147	
合計	219	

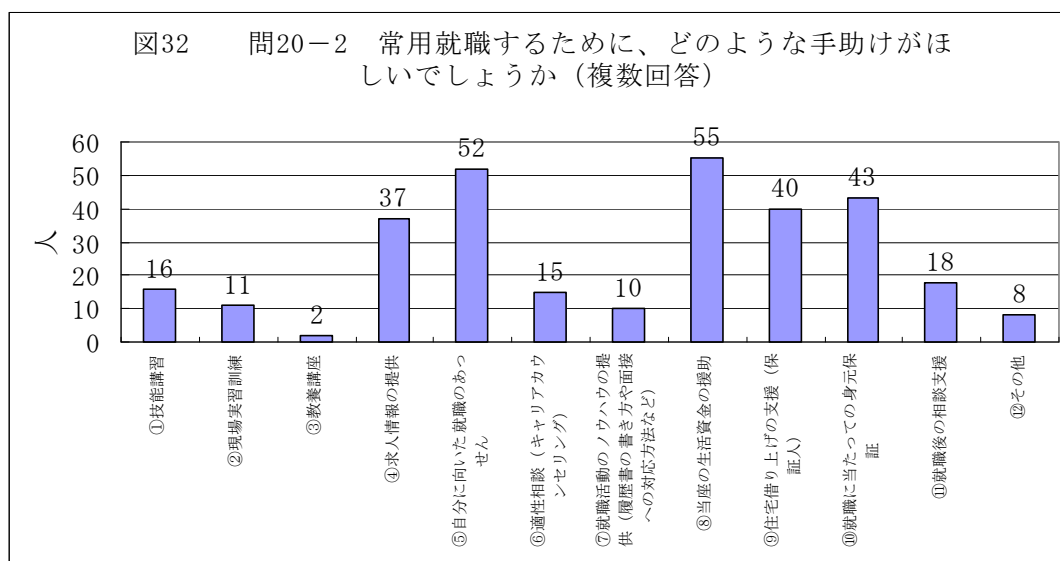
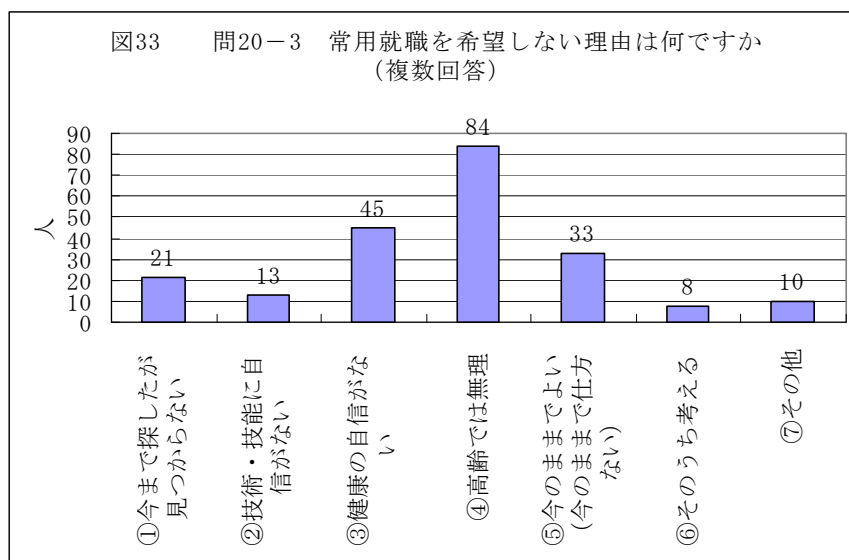


表 45、図 32 は、会社勤めなど常用の仕事我希望すると回答した者に対して、常用就職

するために、どのような手助けがほしいかを複数回答で聞いた結果を示したものである。最も多かったのが「当座の生活資金の援助」と回答した者で、55人(38.5%)と4割弱に上っている。また、相対的に多かったのは、「自分に向けた就職のあっせん」、「就職に当たっての身元保証」、「住宅借り上げの支援(保証人)」、「求人情報の提供」、「技能講習」と回答した者で、それぞれ52人(36.4%)、43人(30.1%)、40人(28.0%)、37人(25.9%)となっている。

表 46 問 20-3 常用就職を希望しない理由は何ですか(複数回答)

	人数	割合
①今まで探したが見つからない	21	14.8
②技術・技能に自信がない	13	9.2
③健康の自信がない	45	31.7
④高齢では無理	84	59.2
⑤今のままでよい(今のままで仕方ない)	33	23.2
⑥そのうち考える	8	5.6
⑦その他	10	7.0
有効回答数	214	150.7
有効回答者数	142	
不明	1	
非該当	148	
合計	291	



会社勤めなど常用の仕事を希望しないと回答した者に対して、常用就職を希望しない理

由を複数回答で聞いた結果を示したのが、表 46、図 33 である。「高齢では無理」と回答した者が突出して多く、84 人（59.2%）と 6 割近くに達している。また、「健康の自信がない」、「今のままでよい（今のままで仕方ない）」と回答した者も一定数みられ、それぞれ 45 人（31.7%）、33 人（23.2%）となっている。